

62 英語の過去形は - t/ - (i)d だが

A : アメリカ英語の動詞は不規則な変化をするものが 200 以上もあって、学習者をこまらせる。生活にかかせない動詞ほど不規則なだから。

	現在形	過去形	受動分詞形
たべる	eat	ate	eaten
のむ	drink	drank	drunk
ねむる	sleep	slept	slept
うる	sell	sold	sold
かう	buy	bought	bought
(規則) 愛する	love	loved	loved

A : スワヒリ語の動詞は名詞の部類と、かたく結び付いている。そして単語の頭にも中にも尻尾にも接辞(接頭辞、接中辞、接尾辞)が入りこんでいる。59であげた(複数の人が来た)というひとつの動詞 waliku ja (ワリクジヤ)は、4つの部分からなっている。1) この単語の主語が第1部類に属する、たとえば(こども、客、病人)だから接頭辞 wa- がつく。2) 過去形だから接中辞 -li- がつく。4) 動詞語幹「来る」ja を不定詞にする接頭辞 3) ku - がついている。Waliku ja は動詞の複合体であるが文としては不完全だ。つぎのように3単語を用いれば文の意味はあきらかとなる。

Mimi ni - li - ku - ona wewe,
 わたし は た を 見 おまえ = わたしはおまえを見た。
 ni (第1人称単数の主辞)、- ku (第2人称単数の客辞)。

A : スワヒリ語は、このようになりに複雑な接辞を単語のなかにかかえこんでいて学習者をなやませる。上の文の ni - と

- ku に(は)と(を)をあててあるが、ニホン語とは性質がまったくちがう。

63 フランス語の動詞は

B : フランス語の動詞は約 4,000 あるから、ニホン語と数の上ではおなじようだ。しかし不規則変化するものが 100 以上もあり、主語の人称と数によって形を異にする点で、学習者をなやませる。辞書形が être(エートル)「である」という不規則動詞の単純過去形は:

	単数	複数
第1人称	je / fū /	nous / fū: m /
第2人称	tu / fū /	vous / fū: t /
第3人称	il / fū /	ils / fū: r /

つぎの現在形とくらべれば、いかに不規則であるかがわかる。

- 1、 je / swi/ nous / sɔm/
- 2、 tu / ε / vous / εt/
- 3、 il / ε / ils / sɔ /

B : 文の構造は中国語(我愛你)や英語(I love you.)では SVO 主語+動詞+目的語の順であるとよく知られている。しかしフランス語では Je vous aime.(ジュヴゼーム)のように動詞おわりである。もっと仲良くなると Je t'aime.(ジュテーム)という(t'=te きみを)。
 また Je vous le donne.(ジュヴルドヌ)はこの順に「わたしは、あなたに、それを、あたえる」という文だ。
 これらの例文は人称代名詞の特別な用法にすぎないけれ